

ローズグラスの採種時期

第2報 4倍体ローズグラスの刈払時期と採種時期

鶴見義朗・*吉山武敏・**福地 稔・**前川 勇

(鹿児島県農業試験場大隅支場・*東北農業試験場・**沖縄県畜産試験場)

TSURUMI, Y., T. YOSHIYAMA, M. FUKUCHI and I. MAEKAWA : The Harvesting Time of Rhodesgrass Seed
2. Influence of Cutting Treatment on the Harvesting Time of Tetraploid Rhodesgrass Strains

4倍体ローズグラスは無霜地帯以外では採種困難で、また、短日を必要とするため、夏期には出穂せず、旺盛な栄養生長をつづける。夏期には茎葉の利用を行い、秋から冬にかけて採種することの可否を検討した。

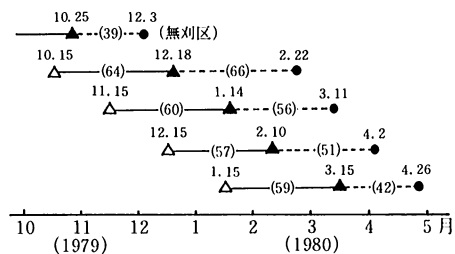
1. 試験方法

沖縄県畜産試験場で4倍体品種マサバ、ムバララを用い、1979年6月26日に苗箱に播種して、7月24日に畦間1m、畦長3mに条状に移植を行い、2反復とした。10月15日から1月15日まで1ヵ月毎に50cmづつ刈払を行い、その後の出穂、採種量について無刈区と比較しながら追跡調査を実施した。

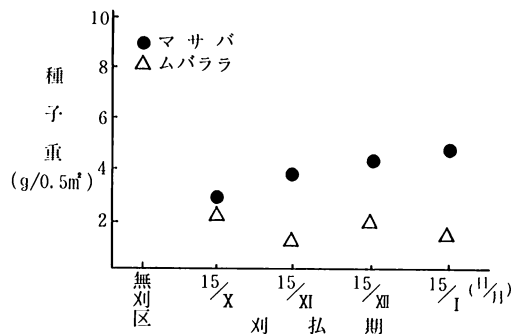
2. 試験結果及び考察

無刈区の出穂始はマサバ10月29日、ムバララ10月21日で、平均10月25日となり、12月3日に採種を行った。刈

払期、出穂始、採種時期は第1図に示したとおりである。刈払区では刈払後約2ヵ月(57~64日)で出穂始に達した。その後、10月15日刈区では66日、11月15日刈区では56日、12月15日刈区では51日、1月15日刈区では42日で採種できた。穂長、枝梗数、10穂重、10穂粒重、穂数、種子量等について調査を行った。いずれの形質でも無刈区に比較して刈取区の方が低い値を示し、ムバララよりはマサバの方が穂数以外の形質で高い値を示した。採種量は刈払区は無刈区の1/2~1/4程度に減収した。以上の結果から、沖縄においては4倍体ローズグラスの秋から春期にかけての採種が可能ながことが明らかとなった。さらに、採種量をあげるための栽培法を検討することが重要と考えられる。



第1図 4倍体ローズグラスの刈払時期と採種時期(1979-1980)
△ 刈払期 ▲ 出穂始 ● 採種期
数字は月日、()内数字は日数



第2図 4倍体ローズグラスの種子量(1979-1980)